

夏・代替大会雑感

23日(日)代替埼玉大会・決勝の役員として、メットライフドームに行ってきました。

実は私が高校3年生だった平成3年夏までは、開会式と県の準決勝・決勝はこのメットライフドーム(当時は西武球場という名称)で行われていました(当時は甲子園より前に、県のベスト4に進出し、この球場でプレーするという目標が存在していました)

この日・・・直射日光を避ける(ドーム)だけでこんなにも体感温度が違うものかと驚きました。今回は埼玉県高校球児のために球場を無償提供していただいたとのこと・・・(本当にありがとうございます)。暑さ対策という観点から今後も使用させていただければとても良いのでは・・・と思いましたが、普通に1日使用したら莫大な金額がかかりそうだな・・・という感想も持ちました。

無事、大会が終わりました。

優勝した狭山ヶ丘高校・準優勝した昌平高校、共に立派でしたが、今回に関してはこの大会を成り立たせた方々が1番凄かったのではないのでしょうか(一応私も役員ですが、与えられた事をこなす私のような立場ではなく、大会自体を企画しなければならなかった方々のこと)私達は過ぎたことを忘れがちですが、この大会の実施が決まった頃はその実施に対しての風当たりが強かったのを覚えています。また、こんなことは書かなくても良いのかもしれませんが、私達役員には無観客(入場収入がない)で実施した際の赤字金額、(大会開催によって)コロナが広まった時の対応・・・というようにマイナス面の話がされ、大会前に長時間の会議が行われたことを無事終了した今、思い出します。

まだまだコロナと向き合いながらになります。選手達の1度きりの高校時代が少しでも充実したものになるよう、微力ながら頑張っていきたいと思えます(当然、役員だけでなく市高野球部監督としても頑張ります!)

温かい言葉に感謝

この夏、たくさんの方々からお褒めの言葉(手紙・メール・電話など)を市高野球部にいただきました。改めて大会を開催していただいたことに感謝し、今後も評価していただけるよう日々精進していきたいと思えます。いただいた言葉等、一部紹介させていただきます。

「市立浦和は選手がとても良い表情で野球をしていますね・・・」代替大会のため無観客であったにもかかわらず、このようなお褒めの言葉をいただきました(女子部員の特集やテレビでの試合中継があったからでしょうか)。大変嬉しく思いました。

「公立高校で夏の埼玉県大会、3年連続で複数の勝利を挙げているのは大宮東と市立浦和の2校のみです。(地味ですが)立派だと思います」そんなとらえ方がありましたか・・・4年連続にできるよう頑張りたいと思えます。大宮東には(監督同士が同い年ということもあり)負けたくありませんので(笑)。(ちなみに大宮東は現時点で夏5年連続複数勝利・・・市高は3年で8勝、大宮東は5年で19勝しており、比較してはいけないのかもしれませんが・・・)

「テレビの特集を観て・・・頑張った女子部員2名も素晴らしいと思えますが、女子部員がノビノビと活動できるという土壌(校風)のある市立浦和高校野球部を素晴らしいと思いました。これからも「市高らしさ」を失わず頑張ってください」確かに・・・そう考えると、男子部員達の活動も立派だったと思えます。「市高らしさ・・・」阿久悠氏からいただいた「普通であること」の詩を忘れずに頑張りたいと思えます。

毎年夏の大会を終えると(一般の方やOBの方から)手紙やメール、電話等をいただきます。注目していただいていることに感謝しつつも身の引き締まる思いがします。今後とも精一杯頑張りますのでよろしくお願い致します。